



日本マニュファクチャリングサービス株式会社

JASDAQ 2162

2013年3月期 第2四半期

決算説明資料

2012年11月14日



これまでにない「新しいモノづくりソリューション企業」として

新・事業戦略コンセプト neo EMS
(進化型のEMS)

をグローバルに展開し、企業価値を増大

◆2013年3月期 第2四半期 業績ハイライト	P 3
◆2013年3月期 通期業績予想	P12
◆事業戦略コンセプト	P21
◆事業環境変化と当社グループの競争優位性	P26
◆当期戦略の進捗状況	P36
◆中長期目標	P43

* 金額は四捨五入にて百万円単位で表示しております。そのため決算短信、四半期報告書と一致しない場合があります。



2013年3月期 第2四半期 業績ハイライト





グループ業績は計画通りの進捗状況



前年同期比：売上高+76.6%、営業利益+214.7%

- ✓ TKRは2012年7月に子会社化したため、前期と比較しTKRの第1四半期の業績が貢献
- ✓ 志摩電子工業が3月決算から12月決算に変更となりました。そのため志摩日本、志摩香港の第1四半期に該当する1月～3月の業績は既に2012年3月期に計上されているため、今期の第1四半期業績には含まれておりません

2013年3月期 第2四半期 業績ハイライト (P/L)

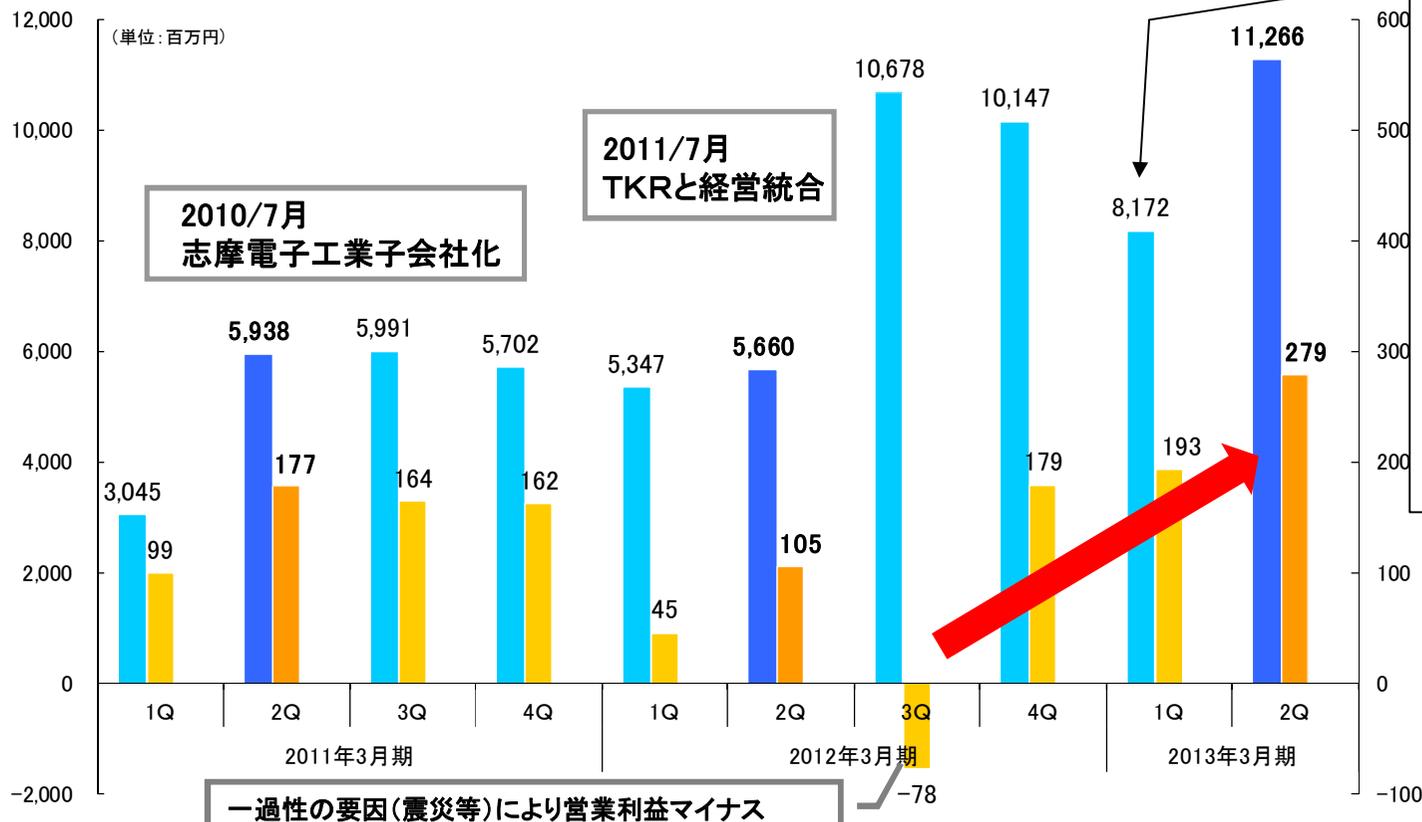
業績は計画通りの進捗状況
(売上高達成率 102.3%、営業利益達成率131.1%)

項目/決算別 (単位:百万円)	第1四半期 (参考)	第2四半期				第2四半期(累計)				前年同期	前年同期比
		計画	実績	差異	達成率	計画	実績	差異	達成率		
売上高	8,172	11,000	11,266	266	102.4%	19,000	19,438	438	102.3%	11,007	+76.6%
売上総利益	1,254	1,320	1,363	43	103.3%	2,610	2,617	7	100.3%	1,315	+99.0%
(売上総利益率)	15.3%	12.0%	12.1%	0.1%	-	13.7%	13.5%	▲0.2%	-	11.9%	-
販売管理費	1,062	1,155	1,083	▲72	93.8%	2,250	2,145	▲105	95.3%	1,165	+84.1%
(販売管理费率)	13.0%	10.5%	9.6%	▲0.9%	-	11.8%	11.0%	▲0.8%	-	10.6%	-
営業利益	193	165	279	114	169.1%	360	472	112	131.1%	150	+214.7%
(営業利益率)	2.4%	1.5%	2.5%	1.0%	-	1.9%	2.4%	0.5%	-	1.4%	-
経常利益	244	165	217	52	131.5%	415	461	46	111.1%	84	+448.8%
(経常利益率)	3.0%	1.5%	1.9%	0.4%	-	2.2%	2.4%	0.2%	-	0.8%	-
四半期純利益	107	85	94	9	110.6%	190	201	11	105.8%	1,274	▲84.2%
(当期純利益率)	1.3%	0.8%	0.8%	0.1%	-	1.0%	1.0%	0.0%	-	11.6%	-

四半期別 業績推移

営業利益は東日本大震災、タイ大洪水後、順調に回復

(単位:百万円)	2011年3月期				2012年3月期				2013年3月期	
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q
売上高	3,045	5,938	5,991	5,702	5,347	5,660	10,678	10,147	8,172	11,266
営業利益	99	177	164	162	45	105	-78	179	193	279



(注) 1Q業績について

志摩電子工業が12月決算に変更

◆ 志摩日本、志摩香港の第1四半期に該当する1月～3月の業績は今期の第1四半期に含まれておりません

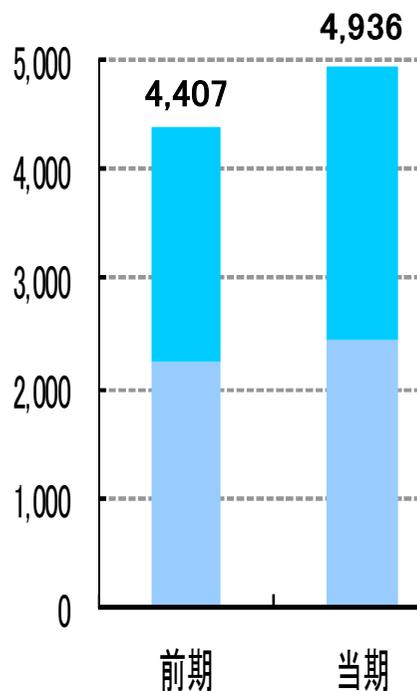
◆ 志摩日本、志摩香港の第1四半期の業績は既に2012年3月期に計上されております

2013年3月期 第2四半期 事業別業績ハイライト(売上高)

IS事業

インラインソリューション事業

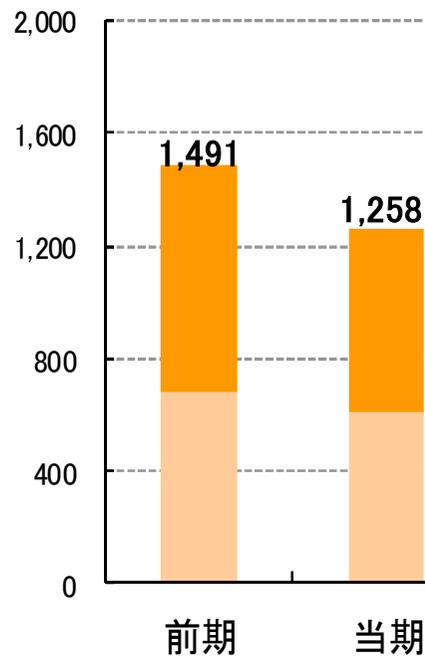
リーマンショック後、
最高在籍数達成



CS事業

カスタマーサービス事業

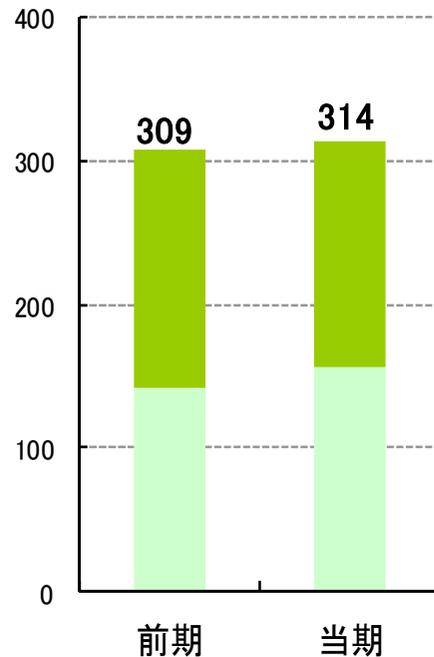
CS事業推進体制の
再構築



GE事業

グローバルエンジニアリング事業

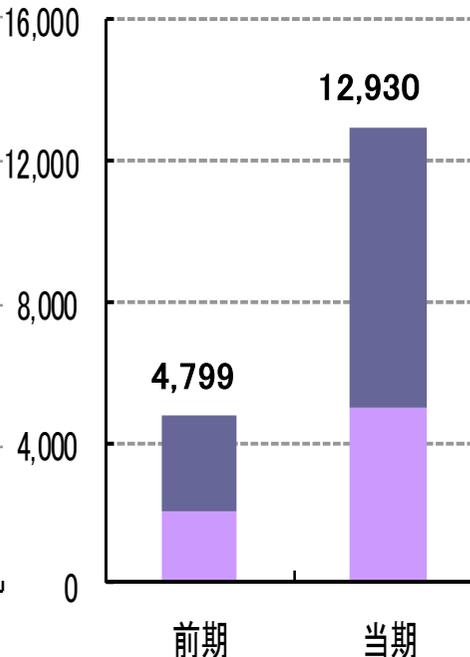
TKRグループと志摩
グループの連携で
受託型の設計業務
の開発に注力



EMS事業

エレクトロニクス
マニュファクチャリングサービス事業

横断的営業戦略組
織を設置し、キーア
カウントに対する本
社営業を精力的に
進める



2013年3月期 第2四半期 事業別業績ハイライト

IS事業

インラインソリューション事業

決算期 項目	1Q	2Q				2Q(累計)				前年 同期	前年 同期比
	実績	計画	実績	差異	達成率	計画	実績	差異	達成率		
売上高	2,432	2,680	2,504	▲ 176	93.4%	5,230	4,936	▲ 294	94.4%	4,407	+12.0%
(構成比)	29.8%	24.4%	22.2%	▲2.1%	-	27.5%	25.4%	▲2.1%	-	40.0%	-
セグメント利益	▲ 6	50	9	▲ 41	18.0%	70	3	▲ 67	4.3%	42	▲92.9%
(セグメント利益率)	-	1.9%	0.4%	▲1.5%	-	1.3%	0.1%	-	-	1.0%	-
現場社員数(人)	2,835	2,950	2,853	▲ 97	96.7%	2,950	2,853	▲ 97	96.7%	2,666	+7.0%

CS事業

カスタマーサービス事業

決算期 項目	1Q	2Q				2Q(累計)				前年 同期	前年 同期比
	実績	計画	実績	差異	達成率	計画	実績	差異	達成率		
売上高	606	750	652	▲ 98	86.9%	1,450	1,258	▲ 192	86.8%	1,491	▲15.6%
(構成比)	7.4%	6.8%	5.8%	▲1.0%	-	7.6%	6.5%	▲1.1%	-	13.5%	-
セグメント利益	16	45	40	▲ 5	88.9%	75	56	▲ 19	74.7%	103	▲45.6%
(セグメント利益率)	2.6%	6.0%	6.1%	0.1%	-	5.2%	4.5%	-0.7%	-	6.9%	-
現場社員数(人)	661	725	643	▲ 82	88.7%	725	643	▲ 82	88.7%	756	▲14.9%

* 前年同期のIS、CS、GE事業の営業利益は間接費用の配分がされたものを記載しております

2013年3月期 第2四半期 事業別業績ハイライト

GE事業

グローバル
エンジニアリング事業

決算期 項目	1Q		2Q			2Q(累計)				前年 同期	前年 同期比
	実績	計画	実績	差異	達成率	計画	実績	差異	達成率		
売上高	156	170	158	▲12	92.9%	320	314	▲6	98.1%	309	+1.6%
(構成比)	1.9%	1.5%	1.4%	▲0.1%	-	1.7%	1.6%	▲0.1%	-	2.8%	-
セグメント利益	3	0	1	1	-	▲5	4	9	-	▲3	-
(セグメント利益率)	1.9%	0.0%	0.6%	0.6%	-	▲1.6%	1.3%	2.9%	-	-	-
現場社員数(人)	110	125	107	▲18	85.6%	125	107	▲18	85.6%	112	▲4.5%

EMS事業

エレクトロニクス
マニュファクチャリング
サービス事業

決算期 項目	1Q		2Q			2Q(累計)				前年 同期	前年 同期比
	実績	計画	実績	差異	達成率	計画	実績	差異	達成率		
売上高	4,977	7,400	7,953	553	107.5%	12,000	12,930	930	107.8%	4,799	+169.4%
(構成比)	60.9%	67.3%	70.6%	3.3%	-	63.2%	66.5%	3.3%	-	43.6%	-
セグメント利益	179	70	229	159	327.1%	220	408	188	185.5%	8	+5,000.0%
(セグメント利益率)	3.6%	0.9%	2.9%	1.9%	-	1.8%	3.2%	1.4%	-	0.2%	-

* 前年同期のIS、CS、GE事業の営業利益は間接費用の配分がされたものを記載しております

2013年3月期 第2四半期 業績ハイライト (B/S)

総資産19,342百万円、純資産6,144百万円

項目/決算別 (単位:百万円)	2012年3月期	2013年3月期		
	(12/3末)	(12/9末)	増減	前期末比
資産合計	18,710	19,342	632	+3.4%
流動資産	13,036	13,764	728	+5.6%
固定資産	5,673	5,578	▲ 95	▲ 1.7%
負債	12,870	13,198	328	+2.5%
流動負債	10,230	11,184	954	+9.3%
固定負債	2,641	2,014	▲ 627	▲ 23.7%
純資産	5,839	6,144	305	+5.2%
資本金	501	501	0	+0.0%
資本剰余金	231	231	0	+0.0%
利益剰余金	2,828	2,987	159	+5.6%
その他	2,279	2,425	146	+6.4%
負債・純資産合計	18,710	19,342	632	+3.4%

流動資産 前期末比+728万円
 受取手形及び売掛金 +1,044百万円
 有価証券 ▲326百万円

固定資産 前期末比▲95百万円
 無形固定資産 +151百万円
 有形固定資産 ▲129百万円
 投資その他資産 ▲117百万円

流動負債 前期末比+954百万円
 支払手形及び買掛金 +361百万円
 短期借入金 +428百万円

固定負債 前期末比▲627百万円
 長期借入金 ▲533百万円

資本金 前期末比±0百万円
 変動なし
資本剰余金 前期末比±0百万円
 変動なし

利益剰余金 前期末比+159百万円

その他
 少数株主持分 +174百万円

2013年3月期 第2四半期 業績ハイライト (C/F)

前年同期比：営業キャッシュフロー改善

<C/F>

項目/決算別 (単位:百万円)	2012年3月期 第2Q (2011年4月1日～ 2011年9月30日)	2013年3月期 第2Q (2012年4月1日～ 2012年9月30日)	増減
営業活動による キャッシュ・フロー	▲295	231	526
投資活動による キャッシュ・フロー	463	89	▲ 374
財務活動による キャッシュ・フロー	2,229	▲228	▲ 2,457
現金及び現金同等物の 増減額	2,383	96	▲ 2,287
現金及び現金同等物にかか る換算差額	▲14	4	18
現金及び現金同等物の 期首残高	1,712	3,873	2,161
現金及び現金同等物の 期末残高	4,095	3,969	▲ 126

<主な指標>

項目/決算期	2012年3月期 第2Q	2013年3月期 第2Q	増減
自己資本比率(%)	16.1	18.0	1.9
1株あたり純利益(円)	12,796.05	1,961.27	▲ 10,834.78



2013年3月期 通期業績予想

注意点: 志摩グループの決算期の変更について

志摩グループの決算期を3月から12月に変更をしたため、2013年3月期の業績予想については以下が注意点となります。

- 2013年3月期は志摩日本および香港の期間損益は4月～12月の9ヶ月分の計上となります。
- 志摩日本および香港の第1四半期に該当する2012年1月～3月の損益は2012年3月期に計上されているため、2013年3月期の第1四半期には志摩日本および香港の損益は計上されません。なお、志摩マレーシアについては当初より12月決算のため変更はございません。

2013年3月期 通期業績予想 (連結)

売上高:前期比+41.4%、利益:営業利益で前期比+296.8%

項目/決算別 (単位:百万円)	上期累計				下期累計				2013年3月期(通期)累計			
	前期	当期	増減	前期比	前期	当期	増減	前期比	前期	当期	増減	前期比
売上高	11,007	19,438	8,431	+76.6%	20,825	25,562	4,737	+22.7%	31,832	45,000	13,168	+41.4%
売上総利益	1,315	2,617	1,302	+99.0%	2,268	3,023	755	+33.3%	3,583	5,640	2,057	+57.4%
(売上総利益率)	11.9%	13.5%	1.6%	-	10.9%	11.8%	0.9%	-	11.3%	12.5%	1.2%	-
販売管理費	1,165	2,145	980	+84.1%	2,167	2,495	328	+15.1%	3,332	4,640	1,308	+39.3%
(販売管理费率)	10.6%	11.0%	0.4%	-	10.4%	9.8%	▲0.6%	-	10.5%	10.3%	▲0.2%	-
営業利益	150	472	322	+214.7%	102	528	426	+417.6%	252	1,000	748	+296.8%
(営業利益率)	1.4%	2.4%	1.0%	-	0.5%	2.1%	1.6%	-	0.8%	2.2%	1.4%	-
経常利益	85	461	376	+442.4%	181	589	408	+225.4%	266	1,050	784	+294.7%
(経常利益率)	0.8%	2.4%	1.6%	-	0.9%	2.3%	1.4%	-	0.8%	2.3%	1.5%	-
当期純利益	1,274	201	▲1,073	▲84.2%	82	299	217	+264.6%	1,356	500	▲856	▲63.1%
(当期純利益率)	11.6%	1.0%	▲10.6%	-	0.4%	1.2%	0.8%	-	4.3%	1.1%	▲3.2%	-

2013年3月期 通期業績予想概要（連結）

売上高 45,000百万円（前期比+41.4%、13,168百万円増収）

…今期より志摩グループが12月決算になるため、志摩日本、志摩香港の損益計上が9ヶ月分となるが、TKRの期間損益の計上が12ヶ月分となるため、EMS事業の売上高は前期比+58.3%増加

● I S 事業	11,150百万円	（前期比+19.0%、1,779百万円増収）
● C S 事業	3,100百万円	（前期比+ 6.8%、197百万円増収）
● G E 事業	750百万円	（前期比+ 19.4%、122百万円増収）
● E M S 事業	30,000百万円	（前期比+58.3%、11,050百万円増収）

売上総利益 5,640百万円（前期比+57.4%、2,057百万円増益）

…売上総利益率が1.2Point改善（11.3%→12.5%）

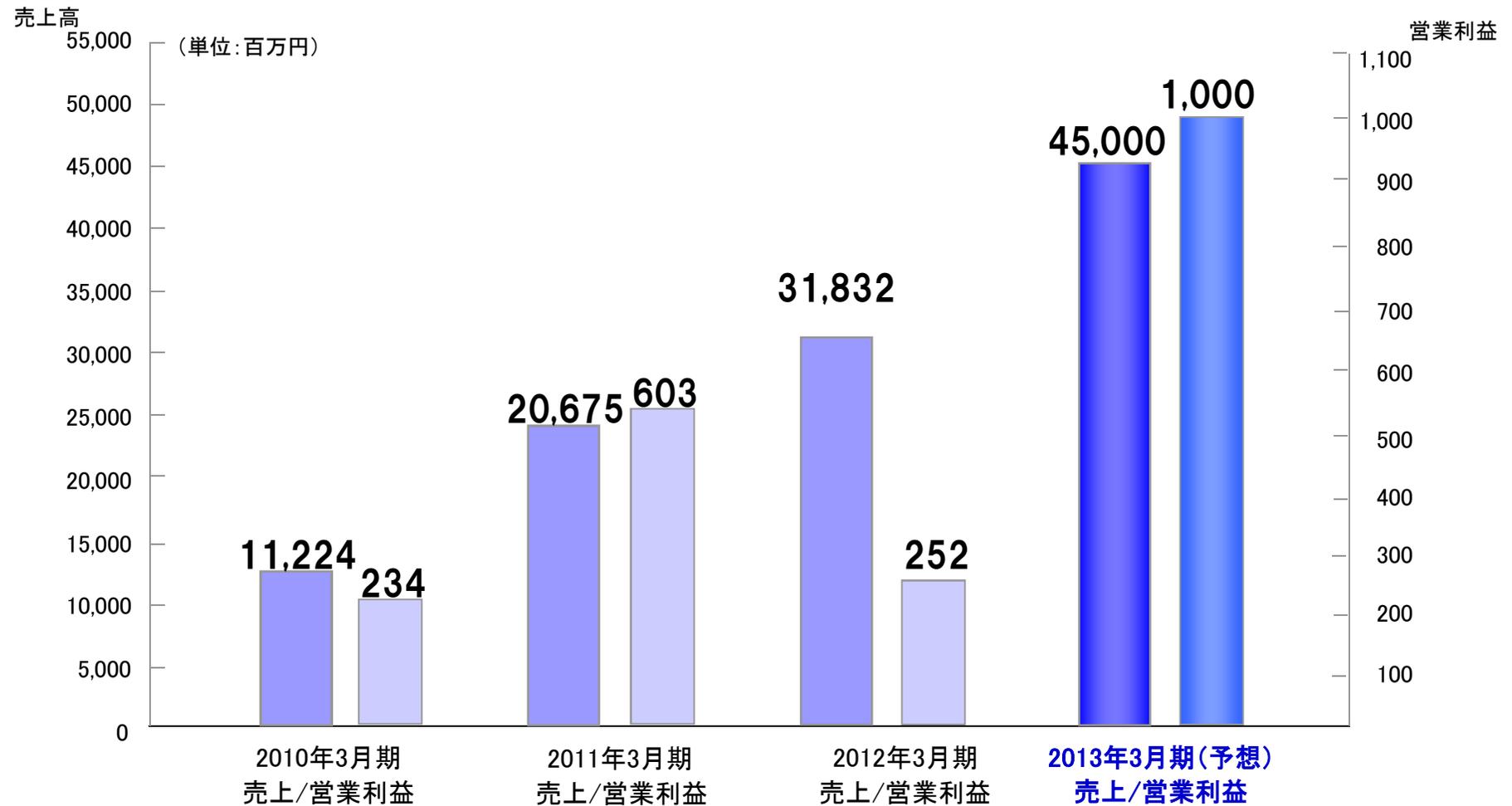
営業利益 1,000百万円（前期比+296.8%、748百万円増益）

…販売管理費が前期比で+1,308百万円増加するも営業利益率を1.4Point改善（0.8%→2.2%）

当期純利益 500百万円（前期比▲63.1%、▲856百万円減益）

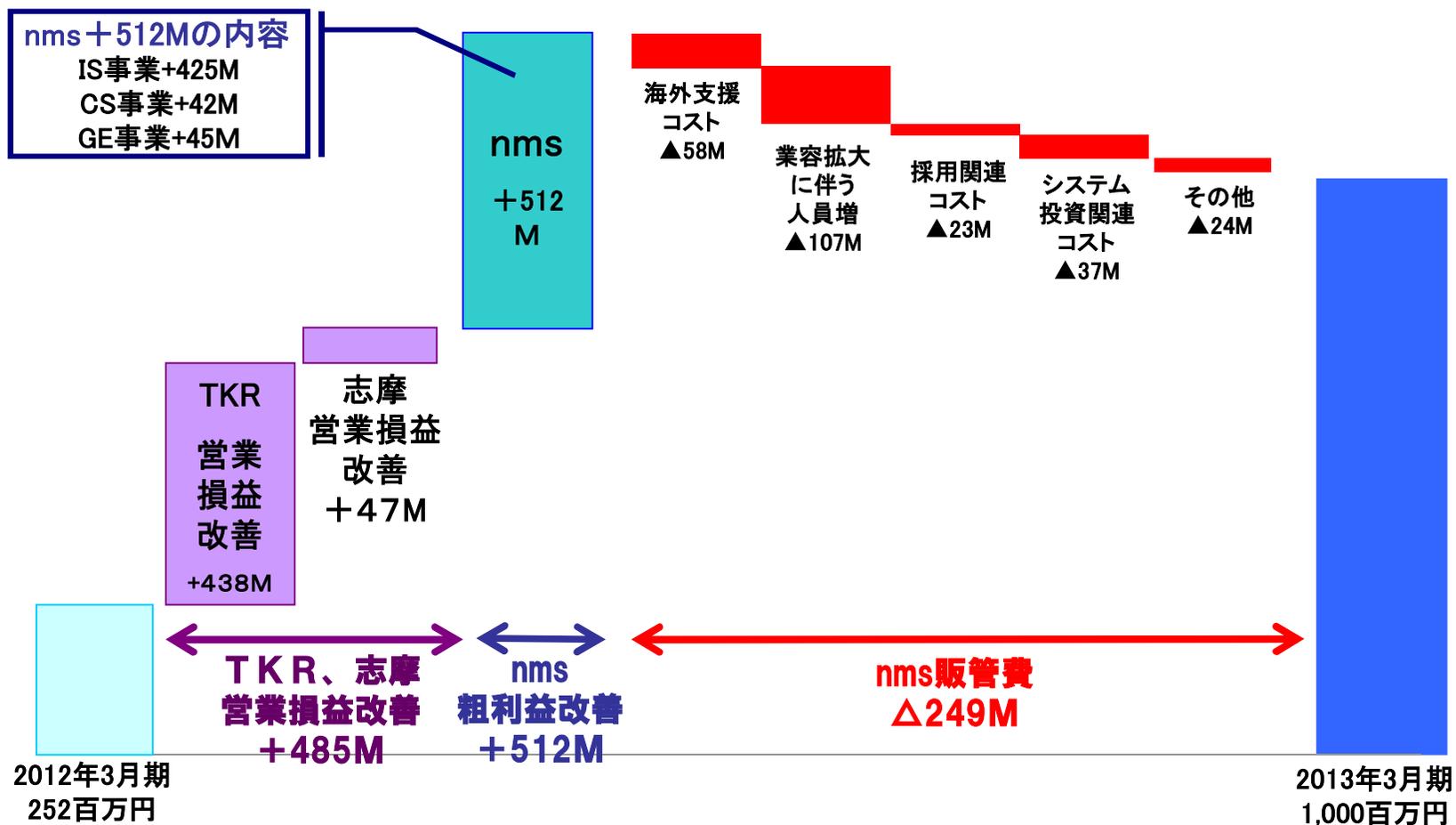
2013年3月期 通期業績予想概要 (連結)

売上高:前期比+41.4% 営業利益:前期比+296.8%



2013年3月期 営業利益について

各事業部の収益改善により営業利益1,000百万円
 (前期比+296.8%増、+748百万円増益)



2013年3月期 事業別業績見通し

IS事業

インラインソリューション事業

売上高19.0%増

* 前期通期累計のIS事業のセグメント利益は間接部門費用の配分がなされていないため非表示とする

項目/決算別 (単位:百万円)	上期累計				下期累計				通期累計			
	前期	当期	増減	前期比	前期	当期	増減	前期比	前期	当期	増減	前期比
売上高	4,407	4,936	529	+12.0%	4,964	6,214	1,250	+25.2%	9,371	11,150	1,779	+19.0%
(構成比)	40.0%	25.4%	▲14.6%	-	23.8%	24.3%	0.5%	-	29.4%	24.8%	▲4.7%	-
セグメント利益	42	3	▲39	▲92.9%	-	267	-	-	-	270	-	-
(セグメント利益率)	1.0%	0.1%	▲0.9%	-	-	4.3%	-	-	-	2.4%	-	-
現場社員数(人)	2,666	2,853	187	+7.0%	2,796	3,250	454	+16.2%	2,796	3,250	454	+16.2%

CS事業

カスタマーサービス事業

売上高6.8%増

* 前期通期累計のCS事業(旧MS事業)のセグメント利益は間接部門費用の配分がなされていないため非表示とする

項目/決算別 (単位:百万円)	上期累計				下期累計				通期累計			
	前期	当期	増減	前期比	前期	当期	増減	前期比	前期	当期	増減	前期比
売上高	1,491	1,258	▲233	▲15.6%	1,412	1,842	430	+30.5%	2,903	3,100	197	+6.8%
(構成比)	13.5%	6.5%	▲7.1%	-	6.8%	7.2%	0.4%	-	9.1%	6.9%	▲2.2%	-
セグメント利益	103	56	▲47	▲45.6%	-	154	-	-	-	210	-	-
(セグメント利益率)	6.9%	4.5%	▲2.5%	-	-	8.4%	-	-	-	6.8%	-	-
現場社員数(人)	756	643	▲113	▲14.9%	684	780	96	+14.0%	684	780	96	+14.0%

2013年3月期 事業別業績見通し

GE事業

グローバル
エンジニアリング事業

売上高19.4%増

* 前期通期累計のGE事業のセグメント利益は間接部門費用の配分がなされていないため非表示とする

項目/決算別 (単位:百万円)	上期累計				下期累計				通期累計			
	前期	当期	増減	前期比	前期	当期	増減	前期比	前期	当期	増減	前期比
売上高	309	314	5	+1.6%	319	436	117	+36.7%	628	750	122	+19.4%
(構成比)	2.8%	1.6%	▲1.2%	-	1.5%	1.7%	0.2%	-	2.0%	1.7%	▲0.3%	-
セグメント利益	▲3	4	7	▲233.3%	-	16	-	-	-	20	-	-
(セグメント利益率)	-	1.3%	-	-	-	3.7%	-	-	-	2.7%	-	-
現場社員数(人)	112	107	▲5	▲4.5%	113	170	57	+50.4%	113	170	57	+50.4%

EMS事業

エレクトロニクス
マニファクチャリング
サービス事業

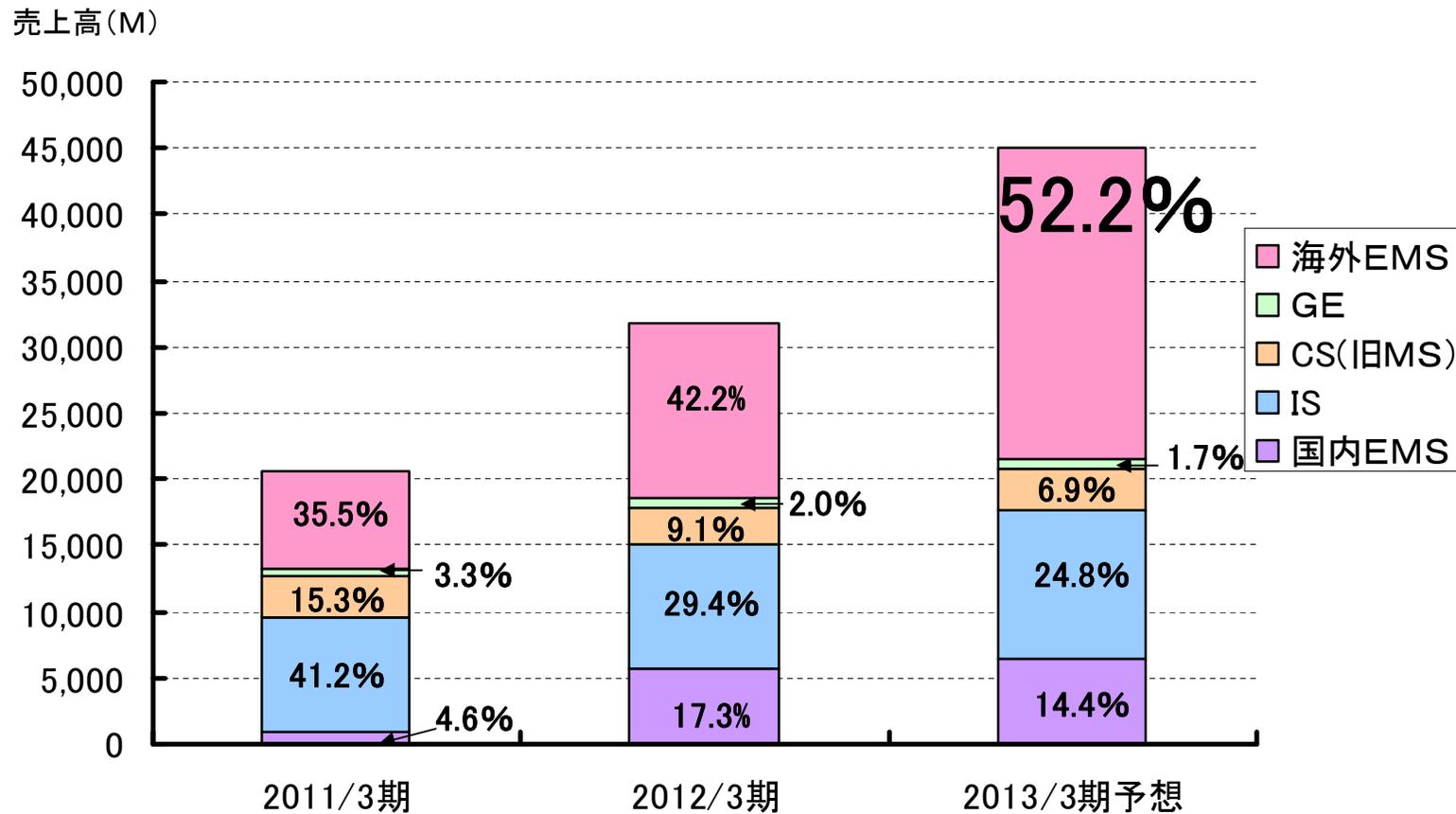
売上高58.3%増

* 前期通期累計のEMS事業のセグメント利益は間接部門費用の配分がなされているため表示

項目/決算別 (単位:百万円)	上期累計				下期累計				通期累計			
	前期	当期	増減	前期比	前期	当期	増減	前期比	前期	当期	増減	前期比
売上高	4,799	12,930	8,131	+169.4%	14,151	17,070	2,919	+20.6%	18,950	30,000	11,050	+58.3%
(構成比)	43.6%	66.5%	22.9%	-	68.0%	66.8%	▲1.2%	-	59.5%	66.7%	7.1%	-
セグメント利益	8	408	400	+5,000.0%	7	92	85	-	15	500	485	+3,233.3%
(セグメント利益率)	0.2%	3.2%	3.0%	-	0.0%	0.5%	0.5%	-	0.1%	1.7%	1.6%	-

事業別売上構成

2013年3月期予想で海外売上高比率50%超



株主還元

**総還元性向(配当＋自己株式取得)20%を中長期的目標
配当性向10%を目処に期末配当額を検討**

単位:円/(%)	2010年年3月期	2011年3月期		2012年3月期		2013年3月期 (予想)
配当金(1株)	普通配当	普通配当	普通配当 ＋特別配当 ＋記念配当の場合	普通配当	普通配当 ＋記念配当の場合	普通配当
	100円	200円	400円	300円	400円	300円
配当性向(連結) (単体ベース)	－ (4.3%)	2.2% (10.0%)	4.4% (20.0%)	2.2% －	3.0% －	6.5% －
総還元性向(連結) (単体ベース)	－ (10.0%)	2.2% (10.0%)	4.4% (20.0%)	2.2% －	3.0% －	6.5% －

* 2011年4月1日を効力日として株式分割(1株5株)を実施したため、上記は分割後換算で表示

* 2011年3月期第2四半期より連結決算をおこなっているため、参考として単体ベースも記載

* 2010年3月期は、自己株式取得(取得金額13,024,540円)を実施



事業戦略コンセプト



事業戦略コンセプト「neoEMS」

「モノづくり」と「人材提供の機動性」を併せ持つ

「neoEMS」こそが我々の創るイノベーション (社会的意義のある新しい価値を創造)

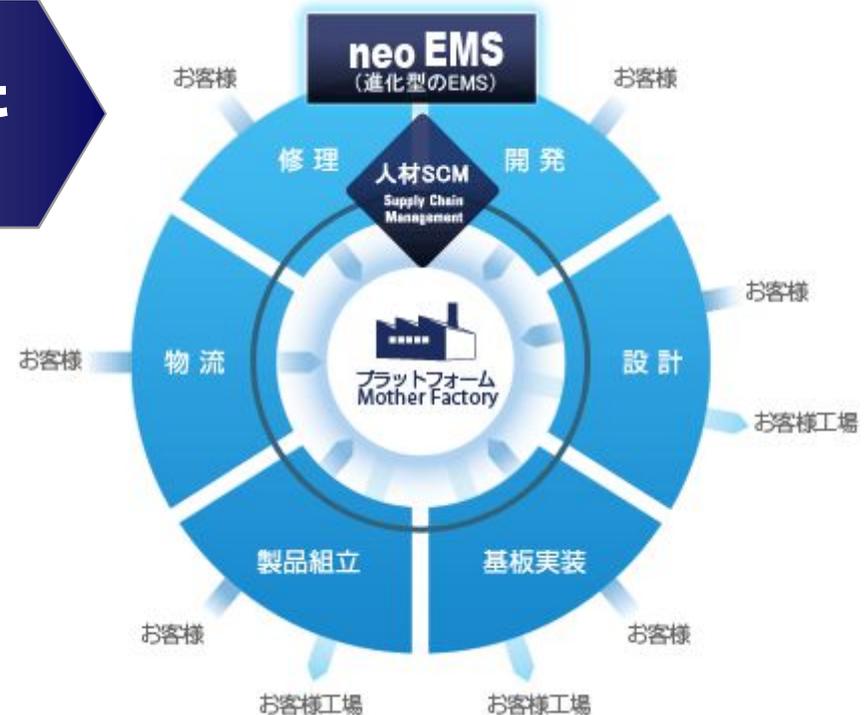
モノづくりと人づくりを兼ね備えた
サービスの提供

「モノづくり」

・・・開発・設計から組立、修理まで

「ひとづくり」

・・・メーカー各社で習熟度をたかめることで
付加価値の高い人材の育成が可能



「neoEMS」の特徴：外部環境、ニーズを捉え進化

外部環境の変化

●世界的景気低迷

●恒常的な円高

●日中経済環境変化

外部環境にあわせたサービスの提供



外部環境の変化への対応

メーカーのニーズ

「生産に最適な場所」で
「必要な製品」を「必要な生産量」
製造するための
「人員調整」「モノづくりスキル」
を活用したい

進化した
サービス

モノづくりと人づくりの両面からサービス提供できるneoEMSは
外部環境の変化に伴い進化することができる

使命

**日本特有の技術を伝承する優れた技術者を育成
(人づくり)することでモノづくりの伝統を支えていく**

日本メーカーのニーズを見据えた業界屈指のサービス提供基盤・グループ体制

モノづくりと人づくりを兼ね備えた体制を構築しているのはnmsグループのみ

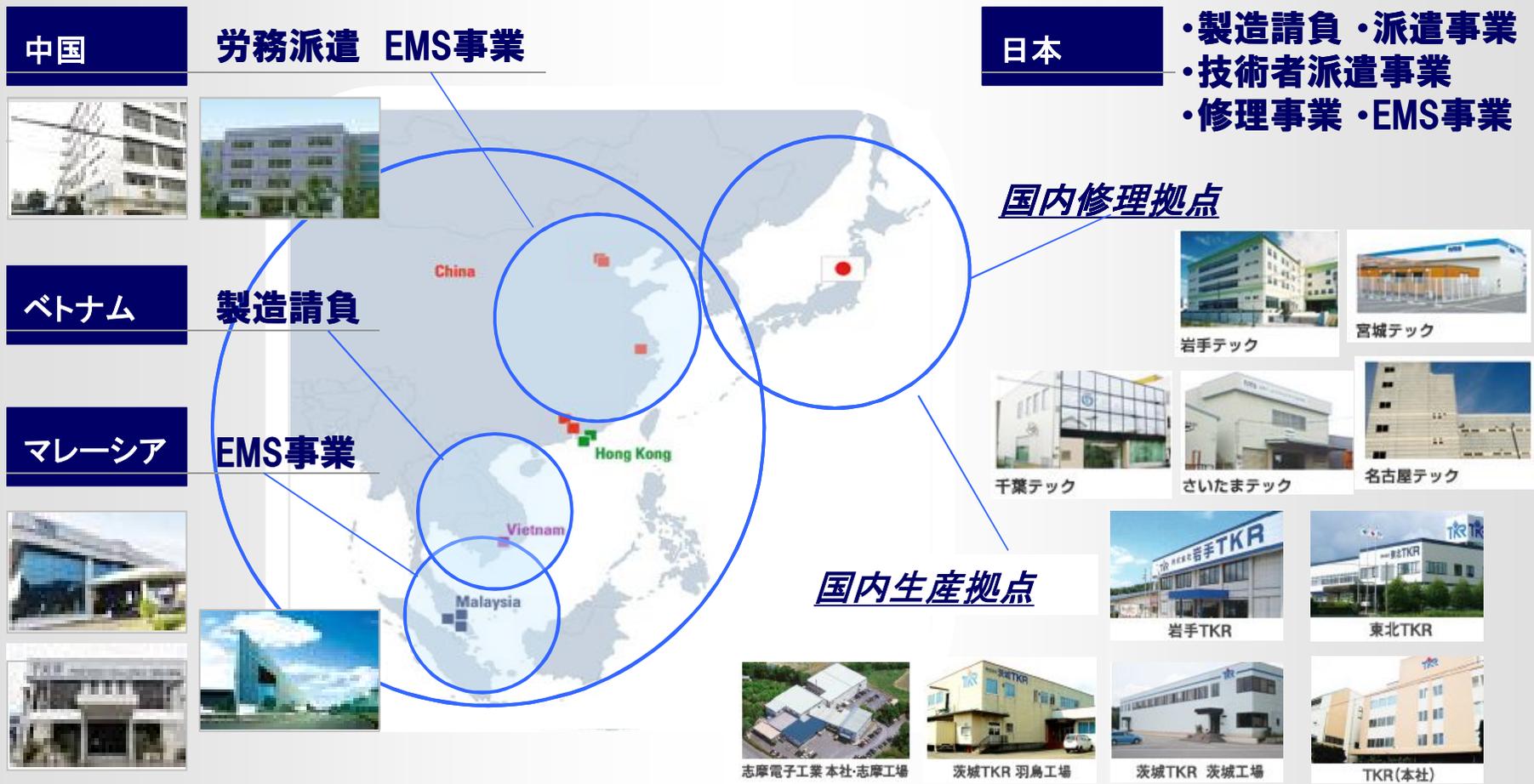
**日本の製造業の開発・設計から組立、修理に
いたる全プロセスに対してサービスを提供**

**雇用の受け皿となり、メーカー各社、全ての
モノづくりプロセスにおいて人材のSCM
を構築し、人材の付加価値を高めていく**



当社グループのアジアネットワーク

モノづくりと人材サービスが融合したサービスが提供できるのは当社のみ





事業環境変化と 当社グループの競争優位性



中国での反日デモ発生

<日系メーカー> **大きなステージチェンジ**
グローバルな生産分業体制へシフト

中国での安い労働コストを使った生産・輸出

中国内で構築した一気通貫
の生産体制を活用した
高い生産性と技術を使
った高付加価値
生産体制への進化

中国以外の生産体制づくり

China + 1

事業環境変化（中国内）

中国での反日デモ発生

<課題>

- 人件費の高騰リスク
- 反日感情リスク
- 今後の法規制への不安

<対応策>

- ・人件費の変動費化
- ・雇用リスクの軽減
- ・労務管理の軽減
- ・法規制への対応

経験・ノウハウ、ソリューションの豊富な外部企業とパートナーを組んで
生産性の向上と高付加価値生産体制へ進化すべく体制を整えたい

メーカーの中国におけるアウトソーシングニーズが拡大

nmsグループにとっては中国特需

事業環境変化 (China+1)

中国での反日デモ発生

中国以外の生産体制づくり

＜課題＞

- ・リスク分散として中国以外のASEAN諸国での生産体制構築が急務
- ・中国のようにインフラ、労働力などが一気通貫でまだ整っていない

＜対応策＞

- ・生産施設の準備、確保
- ・労働力の確保
- ・法規制対応 等

China+1での生産体制を整えていくパートナーが必要

メーカーのASEAN諸国におけるアウトソーシングニーズが拡大

nmsグループにとってはChina+1 特需

中国特需に対応できる体制を構築済み

①中国でモノづくり・人づくり基盤を持っている

- ◆ 中国で労務派遣免許を取得
- ◆ 日本での製造派遣・請負実績から日系メーカーのニーズを把握
- ◆ 中国子会社工場での製造受託サービスの展開

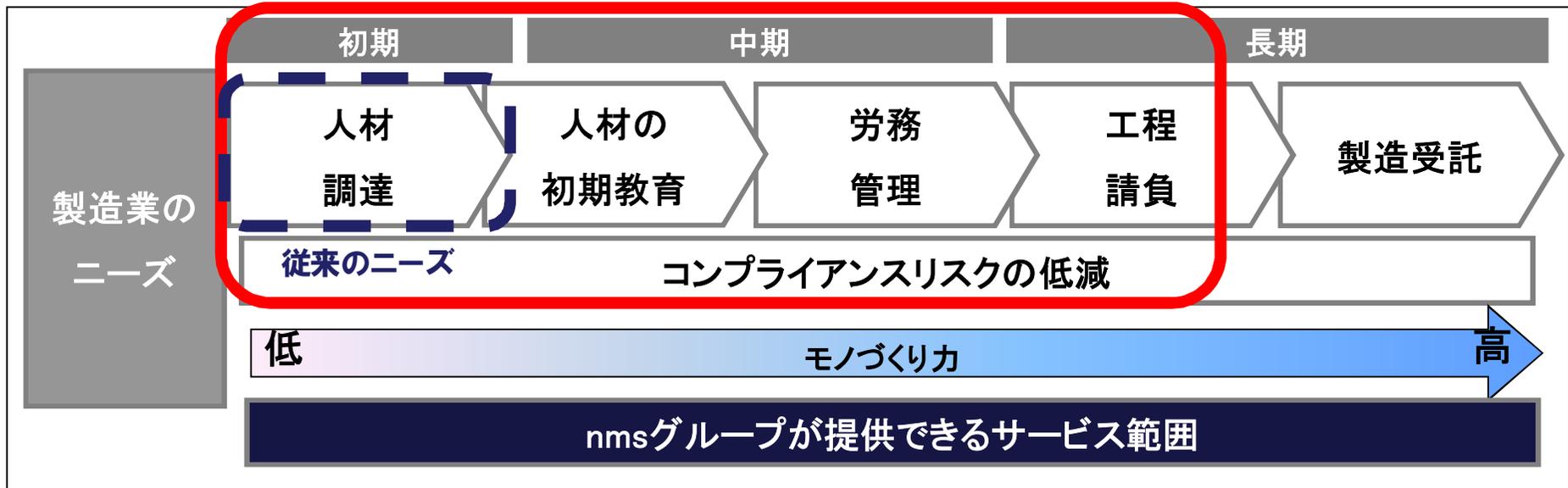
②中国政府との連携

- ◆ 中国労務派遣委員会のメンバーに選任
子会社の張総経理が委員会の副会長に就任

中国内でのnmsグループの競争優位性①
(中国でモノづくり・人づくり基盤を持っている)

モノづくり・人づくり基盤をすでに構築
メーカーニーズの変化に対応できる

中国ローカル企業との圧倒的差別化



高い生産性と技術を使った
高付加価値生産体制への進化に対応できる

「中国労働学会 労務経済及び国内労務派遣専門委員会」 の活動に参加している

「中国労働学会 労務経済及び国内労務派遣専門委員会」

:2010年12月28日に中国で初めて設立された
労務派遣業界の基準、法律等の制定に係る専門委員会

委員会の役割：
中国国内での人材市場における法制化の活動

- 当該委員会において日華材創総経理張国梁が副会長に就任
- 選任メンバー23の機関・企業
メンバーの内訳：民間4社他政府系機関および企業
(内外資1社(nms子会社)のみ)

[専門委員会の組織図、及び役割]

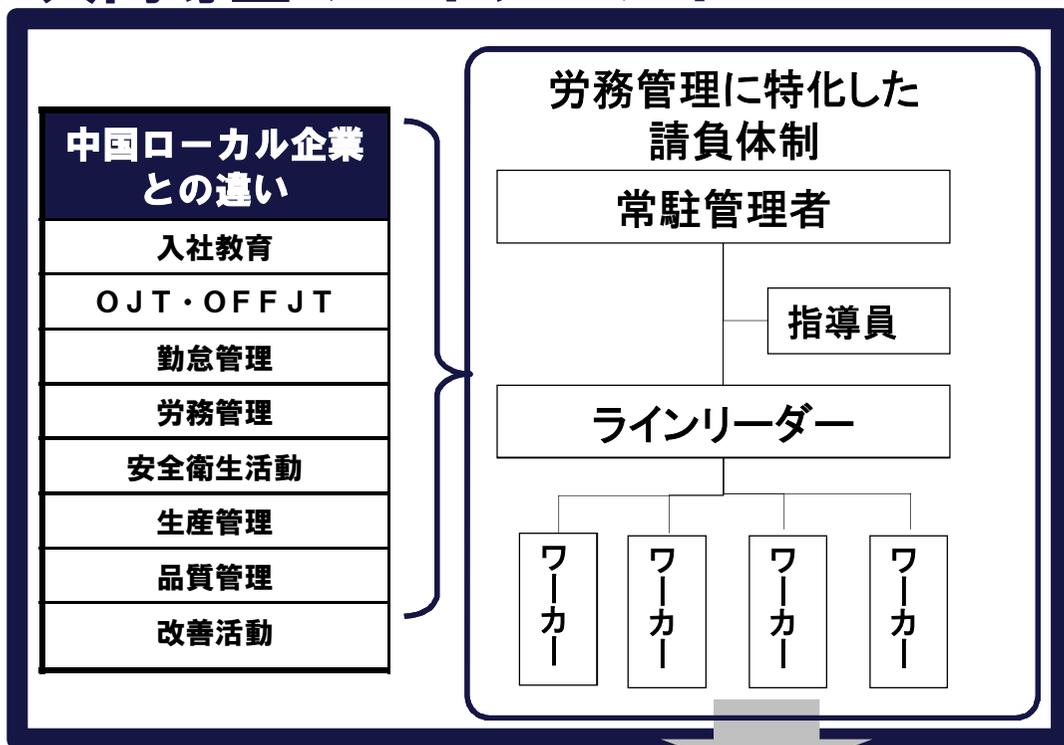
人力資源社会保障部
(日本でいう厚生労働省)

中国労働学会
(人力資源社会保障部直属機関)
(法律・法規の研究、草案提出)

専門委員会

メーカーから労務管理に特化した 工数請負までの依頼が増加傾向

人間尊重のマネジメント



具体案件(1例)

A社: 2,000名~3,000名規模の事業所
冷蔵庫のコンプレッサーの組み立て

B社: 2,000名~3,000名規模の事業所
モバイル製品液晶の組み立て

C社: 2,000名~3,000名規模の事業所
デジタルカメラの組み立て

今後も当社の強みである請負を目指した提案により
他社との圧倒的な差別化を図る

China+1 特需への対応

nmsグループはベトナム、マレーシアで
製造アウトソーシングサービスを展開

ベトナム

- お客様の工場内請負サービス
- ベトナム進出支援サービス
- 工場労働者、技術者の派遣

マレーシア

- 製造受託サービス(EMS事業)

TKR マレーシア、TKR プレジジョン
志摩マレーシア

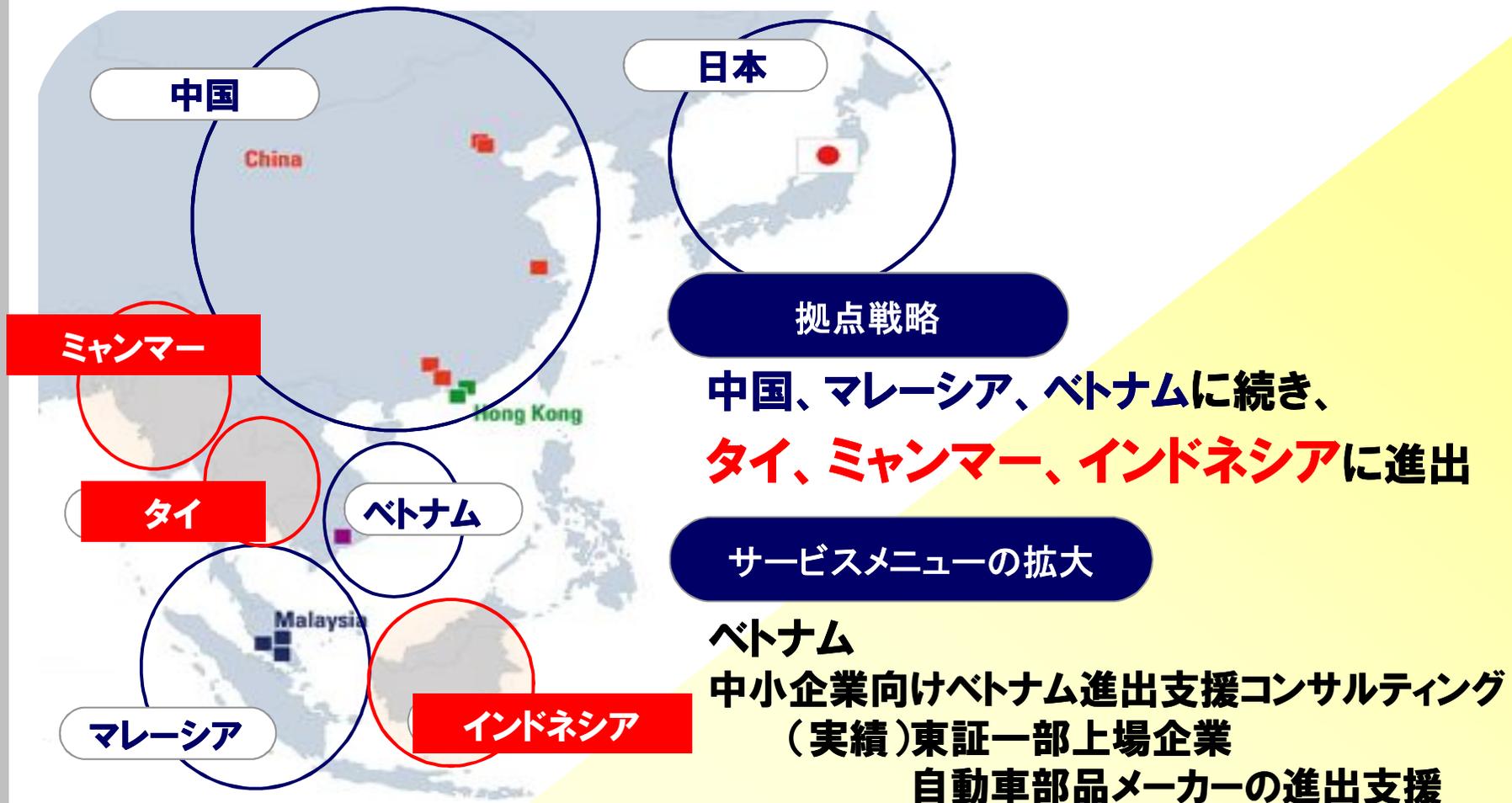
NMSインターナショナルベトナム
ハノイ支店

NMSインターナショナルベトナム
(ホーチミン)

マレーシア
EMS事業



将来:China+1へのさらなる拠点拡大





当期戦略の進捗状況



グループ営業機能を強化し、 事業戦略コンセプト「neoEMS」のグローバル展開を加速



+



+



- 国内での製造請負・製造派遣事業と修理事業を
今まで以上に強化・拡充
- 中国・ベトナムにおける製造派遣、製造請負事業の拡大
- グループ各社で展開するEMS事業と当社人材ビジネスの
コラボレーションによる「neo EMS」をグローバルに展開

人材ビジネス

IS

GE

売上げ規模の拡大と事業シナジーによる案件拡大

収益を確保するための施策

売上規模の拡大

- ・M&A、アライアンスによる在籍数の拡大
- ・派遣法改正の停滞により請負志向が高まる
- ・従来よりも高度な外注体制、請負取引を要請
- ・2012年問題

売上規模拡大による
収益性の拡大

豊富なサービスメニューを武器に案件獲得

高収益職種の拡大

- ・GEとTKR技術部の連携
- ・TKRで技術者の採用・派遣業務開始準備
- ・中国人・ベトナム人技術者派遣

技術者派遣事業の拡大

国内

当期戦略の進捗状況

カスタマーサービス事業

CS

デジタル製品修理事業の拡充

テックにおける集中修理からメーカー各社の修理現場、
フィールドサービスまで幅広く対応することで事業規模を拡大

- フィールドサービス網の拡大
- 家電量販店からも受注し、
7月から修理サービス開始
- カスタマーサービス専用
Webサイト開設による案件獲得

投資から収益確保へ



国内外 当期戦略の進捗状況

エレクトロニクスマニュファクチャリングサービス事業

EMS

nms、志摩、TKRの事業シナジーによる案件拡大



「nmsのグループ力」での顧客満足獲得の事例

- (株)志摩電子工業 EMS工場にてnmsクライアントからの西日本での製造請負案件を受託
・nmsグループ国内ネットワークの活用

EMSの志摩電子工業がnmsの請負ノウハウを活用し
付加価値の高い請負案件を受注

- 志摩工場に対応できない製造受託案件をTKRの工場を受託
・EMSサービスラインナップの拡張
・nmsグループ国内ネットワークの活用

- 志摩中国工場へ中基衆合が人材を派遣

- 志摩マレーシアの顧客の案件増加にTKRマレーシアが対応
・海外生産変動への対応
・nmsグループ海外ネットワークの活用

中国 製造派遣事業・ベトナム 製造請負事業の 順調な推移



中国

派遣ビジネス拡大のための
管理者・リーダークラス育成
派遣実績 500名超 (9月末時点)



ベトナム

新規案件受注
ベトナム進出企業支援
ローカル人材派遣会社と提携



ベトナム

●ベトナム進出支援サービス

日本メーカーの進出支援から人材の提案まで
ベトナムローカル人材派遣会社と業務提携

●ベトナム請負事業開始

●ベトナム政府系機関訪問

- ・ベトナム 海外労働局
局長 グエン ゴック クイン氏訪問
- ・ベトナム商工省 工業戦略政策研究院
院長 ズン デイン ヤム博士訪問

●ブリッジエンジニア派遣への準備 ダイナム大学理事長訪問

ベトナム人技術者を日本国内で派遣準備



写真右:ベトナム海外労働局
局長グエン ゴック クイン氏 左:nms小野文明



写真右から2番目:ベトナム商工省工業戦略政策研究院
院長 ズン デイン ヤム博士 左から3番目:nms小野文明



写真左:ベトナムダイナム大学理事長 リー ダック ソン氏
右:nms小野文明



中長期目標



製造アウトソーシング アジアNo1

2014年3月期は

事業規模を2011年3月期比 **3倍に拡大**

中国事業を中心に海外売上高比率を **50%超に拡大**

今後の戦略 — 進化するneo EMS

変化の激しい時代だからこそ社会的意義のある新しい価値を創造
「neo EMS」の進化が始まる

モノづくりと人づくりを兼ね備えた
サービスの提供

nms
NIPPON MANUFACTURING SERVICE

+

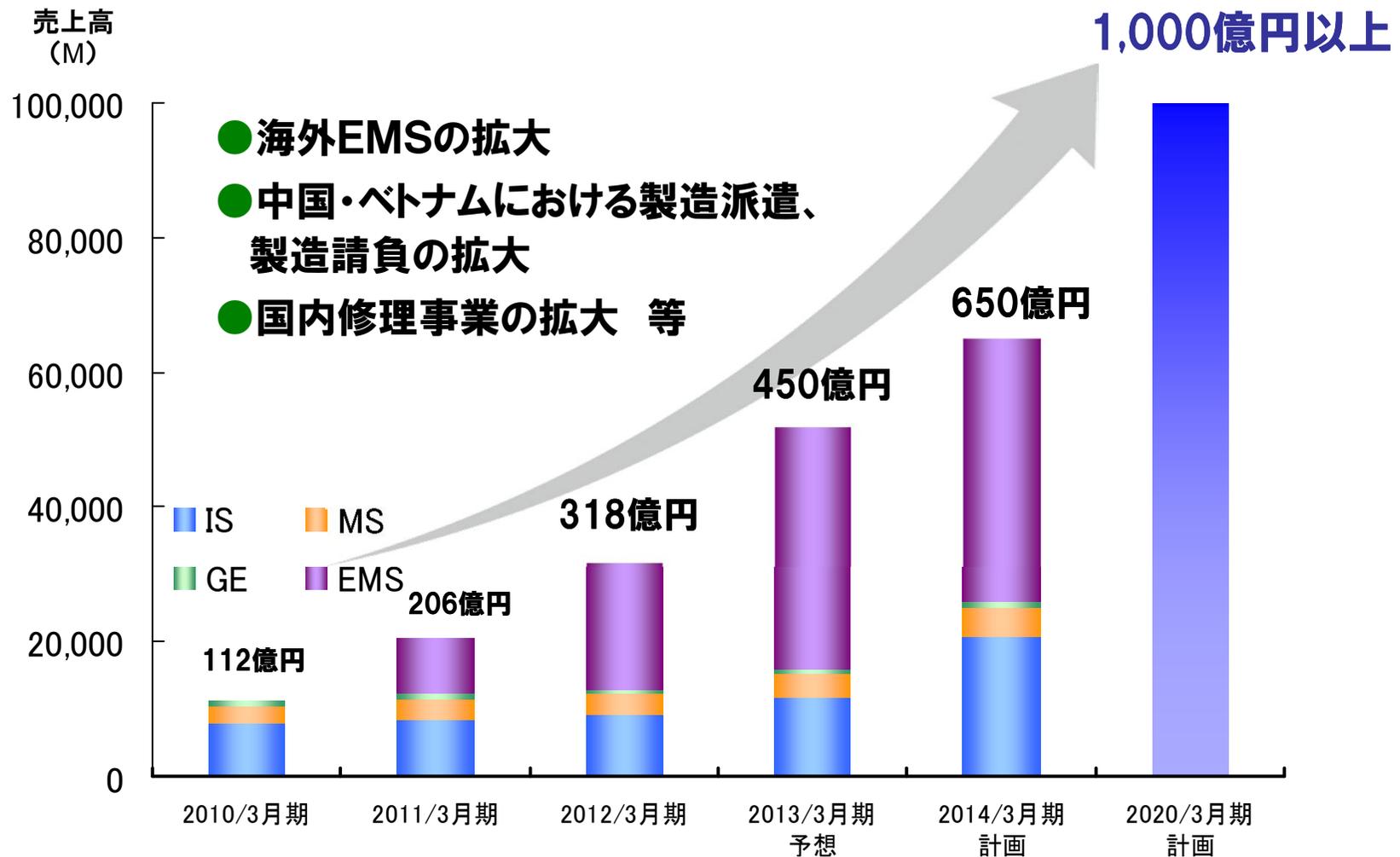
SHIMA
株式会社志摩電子工業

+

TKR

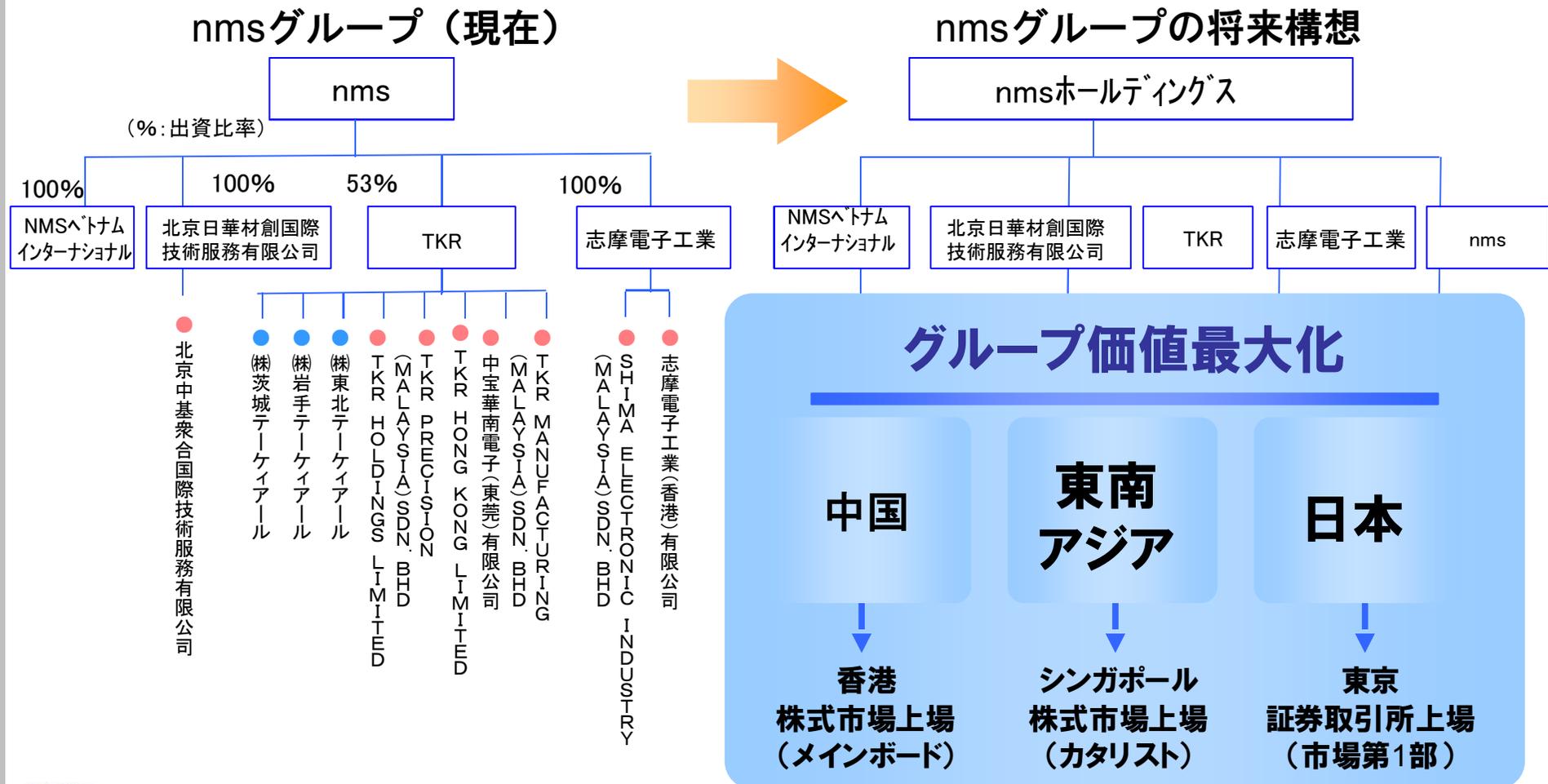


売上高1,000億円を目指した展開



グループ体制: グループ価値最大化に向けた将来構想

中国、東南アジアで事業を拡大するために グローバルな資金調達を実現



本資料は当社をご理解いただくために作成されたもので、当社への投資勧誘を目的としておりません。

本資料を作成するに当たっては正確性を期すために慎重に行っておりますが、完全性を保証するものではありません。本資料の中の情報によって生じた障害や損害については、当社は一切責任を負いません。

本資料中の業績予想ならびに将来予測は、本資料作成時点で入手可能な情報に基づき当社が判断したものであり、潜在的なリスクや不確実性が含まれています。そのため、事業環境の変化等の様々な要因により、実際の業績は言及または記述されている将来見通しとは大きく異なる結果となることをご承知おきください。

本資料に関するお問い合わせ

日本マニュファクチャリングサービス株式会社

コーポレート本部 広報IRグループ

Tel:03-5333-1711

E-mail:nms-ir@n-ms.co.jp

